

令和2年7月発行

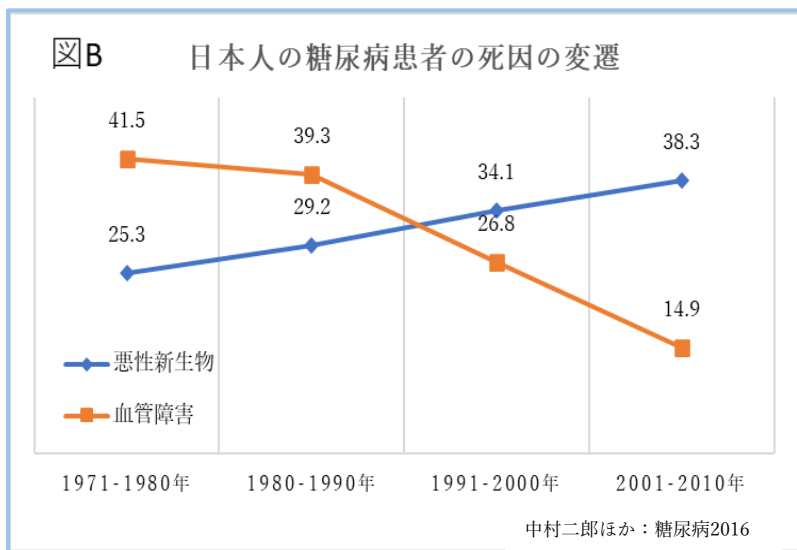
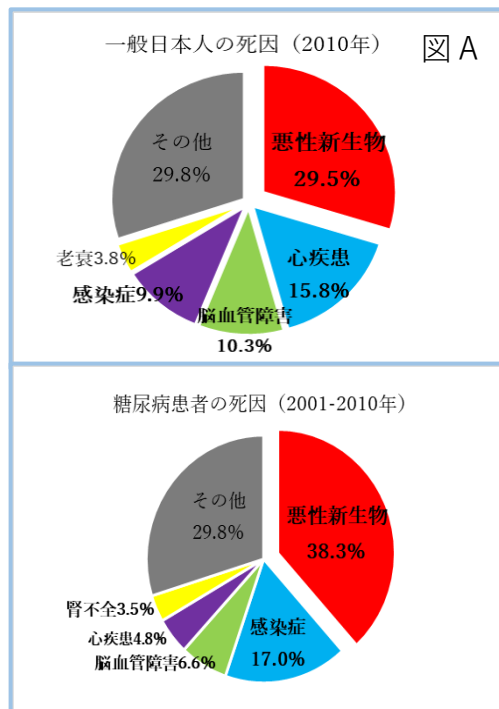
独立行政法人国立病院機構
東近江総合医療センター
患者サービス向上対策委員会

あかね

糖尿病患者さんへの検診のススメ 糖尿病・内分泌内科 坂田 瑞稀

糖尿病治療の目標は「健康な人と変わらない人生を送れること」とされています。そのためには糖尿病の合併症の発症進展を予防することが大切です。かかりつけ医への定期的な通院を怠らず、定期検査を受けて、治療を継続的に受ける事が目標達成の秘訣です。

右上図（図A）は一般日本人と糖尿病患者さんの亡くなる原因をそれぞれ表しています。糖尿病患者さんは、以前は糖尿病の合併症である血管障害を原因とする心臓・腎臓・脳の障害で亡くなる方が一番多かったのですが、医療の発達や患者さんたちの熱心な定期通院のおかげもあり、血管障害で亡くなる方はずいぶん減ってきています（図B）。そして、長生きできる人が増えてきました。



現在では糖尿病患者さんの死因の第1位は、糖尿病ではない方と同様に悪性新生物（がん）となっています。悪性新生物（がん）の中では肺がんが7.0%と最も多く、次いで肝臓がん（6.0%）・膵臓がん（5.7%）が多くなっています。最近では、糖尿病患者さんはそうでない方と比べると肝臓がん・膵臓がん・大腸がんになりやすい傾向がある事もわかってきています。

そこで皆さんにお願いしたいのが、がん検診です。「健康な人と変わらない人生を送れること」という目標を達成出来るように、がん検診を受けて、がんの早期発見・早期治療を目指しましょう。東近江市では肺がん・胃がん・子宮頸がん・乳がん・大腸がんのがん検診を行っております。一度に複数の臓器についてまとめて調べる事が可能なため、是非一度受けてみてはいかがでしょうか。